



第 50 号

令和 4 年 5 月

会長 岡本 諒



北野中央自治会 会長 岡本 諒

長引く新型コロナウイルス禍の中での自粛生活が続き、会員の皆様も大変な毎日をお過ごしのことと思います。北野中央自治会は、この 1 年間「住みよいまちづくり」を目指し活動を展開してきましたが、「新型コロナウイルス」で自治会活動も大きな制約を受けました。2021 年度事業計画も多くの事業が中止となりましたが、厳しい状況の中での自治会活動に対して、皆様のご理解・ご協力を頂きました事を心より感謝しお礼申し上げます。

2022 年度の「第 46 回定期総会」も大変残念ですが 3 年続けて書面での開催となりました。今年度も新型コロナウイルス禍の中での厳しい活動になりますが、こんな時期だからこそ自治会が活動の目的にしている「互助の精神」「小さなお節介」を発揮し、皆さんと一緒に知恵を出し合い、「新型コロナウイルス」に負けない「強いまちづくり」を目指しましょう！

昨年も全国的に自然災害が目立った一年でした。過去に経験しなかった事が、最近では当たり前のようになっています。今年に入ってから震度 5 以上の地震が全国で多発しています。会員の皆様も、日頃から災害に対する備えを十分をお願いいたします。

北野中央自治会では災害時に備えて、毎年「家族構成調査」を実施しております。今年の調査の回収率は昨年を大きく上回る 94.3%で多くの会員の皆様に協力していただきました。

世帯数:316 世帯 人口:818 人(男 371 名、女 447 名)一世帯平均:2.59 人

高齢者:366 人 高齢化率 44.7%(昨年 45.6%)⇒昨年から減少に転じた

高齢世帯:104 世帯(-19 世帯) 32.9%(昨年 39.0%)

独居世帯:41 世帯(+1 世帯) 13.0%(昨年 12.7%)

高齢世帯の 5 軒に 2 軒が独居世帯

高齢化率が高い事は、高齢になっても暮らしやすい街の証でもあります。しかし残念な事です、昨年は北野中央自治会の発展に長年にわたって尽力いただいた多くの先輩のご逝去や介護施設等へ転出するケースも増えました。一方で若い人の入会も増えてきております。

自治会の活動も、若い会員の皆様が今まで以上に参加しやすい事業等に転換していかなければならないと考えております。自治会活動に「若い力」を是非お貸し下さい。

「故郷北野」を「子供からお年寄り、障がいを持たれた人にも優しく、住みよい安心安全な街」にするため、2022 年度も会員の皆様のご協力を心よりお願いいたします。

令和4年度 部長会議の開催

令和4年度の部長会議が4月24日(日)北野連合会館で開催され、今年度の事業計画などについての協議がなされました。

岡本会長からは会員の安全を確保した上で、各部長には最初から「中止ありき」ではなく、実施を前提に各部で知恵を出し合って「コロナに負けない強い自治会」を目指してほしい旨の話がありました。

1. 第46回定期総会の結果について

- ① 既に結果については回覧で報告済ですが316世帯中218世帯(委任状を含む)から回答書が提出され、回収された回答書では全員が賛成でした。
- ② 回答書に記載された質問・意見については後日回答を回覧予定。

2. 今後の行事实施の見通し

会員の健康・安全面を最優先に今後の行事の開催の可否を考える。

- ① 実施予定行事
 - ・4回/年 予定している役員・班長会議は役員と班長を分離して開催。
 - ・北野通花壇と第1・第2公園の花植え作業及び花壇整備・清掃作業(5月～10月までの毎月第4土曜日9時開始、雨天の場合は翌週に延期)
 - ・防災部の5月14日(土)予定の防災役員会議は延期、実態にそぐわない現状の自主防災組織の再編作業を行い、新組織決定後に開催予定。
 - ・7月3日(日)の防災訓練、10月15日(土)予定のHUG講習会は内容や開催時期を再検討して実施予定
 - ・7月15日(金)の夏の交通安全街頭啓発(三菱自動車駐車場前)は参加予定
 - ・9月4日(日)のパークゴルフ大会は実施予定。
- ② 中止する行事
 - ・6月19日(日)春の町内一斉清掃及び野外懇親会は中止。
 - ・夏休みラジオ体操、七夕まつりは子供のコロナ感染者が増加しており中止。
- ③ 実施が未定のもの
 - ・合同クリスマス会、女性部研修旅行、秋のぶどう狩り、新年会は開催予定時期の状況を見て判断。ふれあいサロン陶器づくりは講師の先生と打合せ後決定

3. その他

今年度は、「班割変更」の検討や、年々自治会の負担増となっている「パートナーシップ除雪」についても、会員の皆様のお知恵をお借りして検討したいと考えておりますのでご協力よろしくお願い致します。

4. 相談役・福祉推進委員長の委嘱について

- ・相談役には、太田眞さん(1区6班)、伊藤昭夫さん(2期10班)、幡江洋さん(2区10班)の3名に委嘱。(第1回役員班長会議に提案)
- ・福祉推進委員会委員長には太田眞さん(1区6班)に委嘱することになりました。

※ 行事の実施・中止は開催予定時期の状況を判断し変わる可能性があります。
変更については回覧等でお知らせします。

“ごみステーション”の器材等維持管理について（お願い）

日ごろから、環境衛生部の事業にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、自治会員の皆様方には毎日の生活と切り離すことができない“ごみステーションの管理器材”〔折りたたみ式ごみボックス〈箱型〉・ネット・コンテナー〈ネット収納箱〉〕が、この冬（2月6日前後）の大雪（8年振り）により多くが雪に埋もれ、その保護と周囲の除雪が十分にできなかった事とも重なり、破損等が多く見受けられました。

器材交換に要する費用は（1ボックス：収容容量おおよそごみ袋12～25個、価格59,000円～64,000円さらに1ネット：21,000円～27,000円）と負担は重くのしかかってきております。昨今の原材料費及び物流の高騰が続く中、この状況では自治会費での支出は苦しくなってくると思われます。

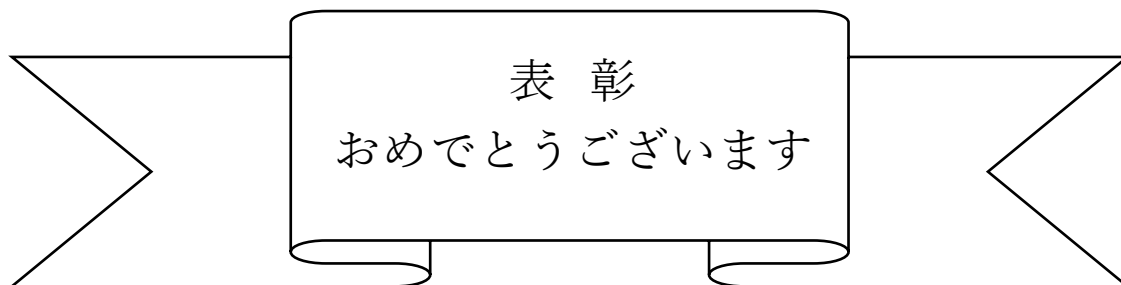
そこで器材管理の在り方について対策を講じ、一層の努力を重ねていく必要があると考えております。

従って、只今申し上げました諸事情をご理解いただき再度の確認として、下記の事項について“ごみステーション”を利用されている自治会員皆様方のご協力をお願い致します。

記

1. 一年間を通して“ごみステーション”の汚れ（違反ごみ投棄を含める）を無くし、器材を自己の物と思って大事にして丁寧に取り扱うこと。
2. カラス対策を考慮し、1.を含め毎週火曜日は（ごみが嵩張り、ボックスの上蓋が閉まらなくなる）ので、必ずネットを使用すること。
3. 当日の一番初めに、ごみの投棄をされる方が、ボックスを組み立てること。
4. 今後、冬期間（12月初旬～翌年3月末迄）利用の“ごみステーション”は、管理器材の保護と器材購入等に要する経費節減の為、周囲の除雪を特定の人ばかりに頼るのではなく、利用する人全員が自発的に行うこと。

特に2と4を中心に、心のこもった奇麗で素晴らしい環境の“ごみステーション”造りを目指し、それを維持して行く為、会員全体で管理し見守っていきましょう。



・令和3年度北海道交通安全功劳者表彰

北海道交通安全推進委員会会長賞 織田光穂さん（2区7班）

・札幌市民生委員・児童委員永年勤続表彰

10年表彰 岡本 諒さん（1区1班）

会員異動のお知らせ

令和4年1月31日 1区2班の野部昭一さんが退会されました。

令和4年3月6日 2区4班に渡辺 剛さんが入会されました。

令和4年3月10日 2区8班に森本正則さんが入会されました。

令和4年3月12日 1区4班の加藤正雄さんが退会されました。

令和4年3月16日 2区4班に太田裕也さんが入会されました。

令和4年3月16日 2区5班に市川剛志さんが入会されました。

（令和4年4月末日現在の会員数は316世帯です。）

編集後記

さわやか青空便はおかげさまで今回、第50号を送らせて頂きました。

今年も年6回発行する予定ですが、自治会の動向を出来るだけ早く正確にお伝えするとともに、会員皆様相互の良き交流の場となるよう努めて参りたいと思っております。

町内、ご近所での明るく、会員相互の親交を深めるような事例がありましたら紙面で紹介したいと考えておりますので、是非お知らせ下さい。

班長の皆様には、ご多忙のところ恐縮ですが、回覧や広報さっぽろの配布など、1年間にわたるご尽力をよろしくお願い致します。